

<b>Title</b>	著訳者紹介
<b>Author(s)</b>	聖学院大学総合研究所
<b>Citation</b>	聖学院大学総合研究所紀要, No. 46
<b>URL</b>	<a href="http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=2201">http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/repos/modules/xoonips/detail.php?item_id=2201</a>
<b>Rights</b>	

聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository for academic archiVE

## 〔著 訳 者 紹 介〕

(掲載順)

阿久戸 光晴 あくど・みつはる

1951年生まれ。一橋大学社会学部・法学部卒。住友化学工業株式会社勤務を経て、東京神学大学博士課程前期修了後、米国エモリー大学神学部大学院ほか。その傍ら聖学院大学及び聖学院大学アトランタ国際学校開設業務を担当。その後聖学院大学宗教主任兼助教授を経て、現在、聖学院大学学長兼教授。その他荒川区不正防止委員会委員長など。

〔著書〕『近代デモクラシー思想の根源』、『説教集 新しき生』、『ヴェーバー・トレルチ・イエリネック』（共著）、『神を仰ぎ人に仕う』（共著）、『キリスト教学校の形成とチャレンジ』（共著）ほか、著書・論文多数。

栗城 壽夫 くりき・ひさお

1932年福岡県生まれ。九州大学大学院法学研究科修士課程修了。大阪市立大学法学部教授、上智大学法学部教授、名城大学法学部教授、名城大学大学院法務研究科教授を経て、2008年より聖学院大学総合研究所特任教授。

〔主要業績〕「ドイツ初期立憲主義の研究」（有斐閣，1965年），「憲法と裁判」（共著，法律文化社，1988年），「19世紀ドイツ憲法理論の研究」（信山社，1997年），「Beiträge zur Geschichte der deutschen Staatsrechtswissenschaft」（SEIBUNDO，2009年）。

高橋 義文 たかはし・よしぶみ

1943年生まれ。アンドリュース大学大学院修士課程，東京神学大学大学院博士課程修了。神学博士（東京神学大学）。三育学院短期大学教授・学長，エモリー大学客員研究員を経て，現在，聖学院大学総合研究所・大学院教授。

〔著訳書〕『キリスト教を理解する』（福音社），『教育の神学』（共著，ヨルダン社），『ラインホルド・ニーバーの歴史神学』（聖学院大学出版会），C・C・ブラウン『ニーバーとその時代』（聖学院大学出版会），J・ウィッテ『自由と家族の法的基礎』（共・監訳，聖学院大学出版会），ラインホルド・ニーバー『ソーシャルワークを支える宗教の視点』（共訳，聖学院大学出版会）ほか。

鵜沼 裕子 うぬま・ひろこ

1934年東京生まれ。東京大学大学院人文科学研究科倫理学専攻課程・博士課程単位取得満期退学（文学修士）。現在、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化研究科特任教授。

〔著書〕『近代日本のキリスト教思想家たち』（日本基督教団出版局，1988年），『史料による日本キリスト教史』（聖学院大学出版会，1992年），『近代日本キリスト者の信仰と倫理』（聖学院大学出版会，2000年）。

深井 智朗 ふかい・ともあき

1964年生まれ。アウクスブルク大学哲学・社会学部博士課程修了。Dr.Phil.（アウクスブルク大学），博士（文学）（京都大学）。現在，聖学院大学総合研究所教授。

〔著書〕Paradox und Prolepsis, Marburg 1996, 1999 (2.Aufl.), 『アポロゲティークと終末論』（北樹出版），『政治神学再考』（聖学院大学出版会），『文化は宗教を必要とするか』（教文館），Harnack und seine Zeit, Marburg 2002, 『超越と認識』（創文社），『十九世紀のドイツ・プロテスタンティズム——ヴィルヘルム帝政期における神学の社会的機能についての研究』（教文館）など。

松尾 秀哉 まつお・ひでや

1965年生まれ。一橋大学社会学部卒。東邦ガス株式会社，株式会社東海メディカルプロダクツ勤務を経て，2007年3月東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。博士（学術）。現在，聖学院大学政治経済学部准教授。専攻はベルギー政治史，比較政治学，キリスト教民主主義論。

〔論文・翻訳〕「キリスト教民主主義政党の「調停の政治」メカニズム——ベルギーにおける初期福祉国家改革期のカトリック党の党内政治過程——」『国際関係論研究』（2000年10月），「「調停の政治」再考——ベルギー・キリスト教民主主義政党の六〇年代——」『聖学院大学総合研究所紀要』第39号（2007年9月），「階級闘争から言語紛争へ——歴史的コンテクストにおける「統治連合」——」『聖学院大学総合研究所紀要』第40号（2008年2月），キャロル・マーション（松尾秀哉訳）「政党派閥と連合政権——イタリア・キリスト教民主党における閣僚ポストの配分」『レヴァイアサン』第29号（2001年秋），「コンセンサス・デモクラシーにおける『ワンマン』型リーダーの台頭」日本比較政治学会編『年報比較政治学 第10号 リーダーシップの比較政治学』，早稲田大学出版（2008年）など。

宮 本 悟 みやもと・さとる

1970年生まれ。同志社大学法学部卒。ソウル大学政治学科修士課程修了〔政治学修士号〕。神戸大学法学研究科博士後期課程修了〔博士号（政治学）〕。日本国際問題研究所研究員を経て、現在、聖学院大学総合研究所准教授。専攻は政軍関係論，安全保障論，朝鮮半島研究。

〔共著・論文〕「国際社会の援助」中川雅彦 編『朝鮮社会主義経済の現在』（アジア経済研究所，2009年3月）pp.71–87，「南北交易に対する経済動向の影響—南北交易と国際貿易の相関—」『海外事情』第57巻7・8号（2009年7月）pp.103–114，「同盟関係が南北朝鮮の全方位外交と核開発に与えた影響—〈見捨てられ〉と〈巻き込まれ〉の視点から—」『聖学院大学総合研究所紀要』第45号（2009年9月）pp.357–382など。

竹 井 潔 たけい・きよし

1956年生まれ。早稲田大学理工学部卒。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士前期課程修了。現在，聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科専任講師。

〔論文〕「価値の中心と情報の価値——工業社会から情報社会への価値転換——」（聖学院大学論叢第16巻第2号，2004年），「コミュニティと情報の価値」（聖学院大学論叢第18巻第2号，2006年），「地域情報化による地域づくりと課題」（聖学院大学論叢20周年記念号），「フィリピンIT企業のオフショアの可能性——情報倫理の意識調査による情報倫理的側面——」（聖学院大学論叢第22巻第1号，2009年）等。

高 萬 松 こう・まんそん

1953年生まれ。東京神学大学大学院博士前期課程修了。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程修了。博士（アメリカ・ヨーロッパ文化学）。聖学院大学総合研究所助教。

〔著書〕『フォーサイスの神義論』（基督教連合新聞社，ソウル・2007年，韓国語）。

〔訳書〕フォーサイス『バルンキドワ ク ヨルメ』（大韓基督教出版社，ソウル・1999年）（The Soul of Prayerの韓国語翻訳）。

〔論文〕「P・T・フォーサイスにおける戦争倫理」（古屋安雄他編『歴史と神学——大木英夫教授喜寿記念献呈論文集 下巻』聖学院大学出版会，2006年），「P・T・フォーサイスとピューリタニズム」（日本ピューリタニズム学会『ピューリタニズム研究』2，2008年）。

菊 地 順 きくち・じゅん

1955年生まれ。東北大学文学部卒業，同大学院博士課程後期中退。東京神学大学大学院修士課程修了。エモリー大学大学院（Th. M）修了。日本基督教団滝野川教会伝道師・副牧師を経て，現在，聖学院大学人文学部チャプレン，教授。日本基督教団聖学院教会協力牧師。

〔著書〕『信仰から信仰へ』，『とこしなえのもの』他。

〔最近の論文〕「ティリッヒとフランシスカニズム」，「井深八重とその信仰」，「ダティ・キングとその信仰」他。

齊 藤 伸 さいとう・しん

1983年東京都生まれ。2007年9月聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士前期課程修了。現在，聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程在学中。

小林 雅博 こばやし・まさひろ

1958年生まれ。新潟大学農学部，国際基督教大学教養学部卒。株式会社日比谷花壇，私立敬和学園高等学校教諭，重症心身障害者デイケア教室あかしの家（新潟市）指導員などを経て，聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士前期課程，および後期課程修了（学術博士）。現在フリーランス。

デヴィッド・ガン David Gann

Specially Assigned Lecturer, Seigakuin University.

Bachelor of Arts (1991), English Literature, Missouri State University, Springfield, Missouri, USA. Master of Arts (1996), Missouri State University, Springfield, Missouri, USA.

〔Publications〕“A Little Magic in the Classroom.” J.A.L.T. Speakeasy Vol. 17 No. 2 December 2002; “Utilizing Group Dynamics to Increase Productivity in Student Projects,” Contexture Saitama Institute of Technology 2002; Problems (pages 19-24) written for Eiken San-Kyuu Yosou Mondai Drill 2002; “Telephone Songs.” J.A.L.T. Speakeasy Vol. 18 No. 1 July 2003. “The Critical Tradition of Shakespeare’s The Tragedy of Julius Caesar.” Bulletin of Gunma Prefectural Women’s University No. 27 February 2006; “Magic By Numbers.” JALT Proceedings 2005 Sharing Our Stories 2006; “Podcasting as a Teaching Tool.” Seigakuin Daigaku Ronsou Vol. 20 No. 1, 2007; “Seigakuin Radio Broadcast: Second Stage.” Bulletin of Seigakuin University Research Institute No. 44 2008.

青木 道彦 あおき・みちひこ

元川村学園女子大学教授。1935年生まれ。東京大学文学部西洋史学科卒。都立高校勤務（この間、立教大学大学院文学研究科修士課程・史学専攻修了，文学修士。同大学院博士課程・西洋史専攻全単位取得中退），河合塾世界史科主任。川村学園女子大学（教育学部情報教育学科，文学部史学科）勤務。2005年同大学を定年退職。

〔著書〕『エリザベスⅠ世』（講談社現代新書），〈共著〉①～④は田村秀夫主宰のイギリス革命史研究会による共著 ①田村秀夫編『イギリス革命と千年王国』（同文館），②田村秀夫編『クロムウェルとイギリス革命』（聖学院大学出版会），③田村秀夫編『千年王国論——イギリス革命思想の源流』（研究社出版），④岩井淳・大西晴樹編『イギリス革命論の軌跡——ヒルとトレヴァー・ローパー』（蒼天社），⑤佐藤・中島・安川編『西洋史の新地平』（刀水書房）。

〔訳書〕J・M・ロバーツ著『ペンギン版：図説世界の歴史8 危機にたつ人類』（小峰書店），〈共訳〉ヒュー・クラウト編『ロンドン歴史地図』（東京書籍）。